

# 生活道路における

## 今後の交通安全対策

～次期交通安全基本計画にむけて～

令和7年6月20日

国土交通省道路局



# 千葉県八街市事故を踏まえた対策の進捗状況

○令和3年6月に千葉県八街市で発生した小学生5名が死傷する交通事故を受け、全国の小学校の通学路を対象とした合同点検を実施

○合同点検の結果および対策の進捗状況は以下のとおり  
(道路管理者分)(令和7年3月末時点)

- ・対策必要箇所数 : 39,016 箇所
- ・対策実施済箇所数 : 39,016 箇所 (100%)
- ・一部の対策を継続実施中の箇所数 : 2,707箇所(約7%)

(継続実施中の対策の内訳)

- 歩道の整備・交差点改良 : 約2,150箇所
- 防護柵の設置 等 : 約 50箇所
- カラー舗装 等 : 約 450箇所
- その他 : 約 60箇所

## 【道路管理者による対策の例】

### ●歩道の整備



### ●防護柵の設置



### ●路面標示の設置



### ●注意喚起看板の設置



# 生活道路の面的対策(ゾーン30プラス、モデル地区)

- 最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定（令和6年度末：263地区）
- さらに、令和7年3月に面的な対策を充実するため、データ分析や新技術の活用などを試行する「モデル地域」を全国で65箇所選定

## 【ゾーン30プラスの概要】

### ＜警察による交通規制＞



### ＜道路管理者による物理的デバイスの設置＞

#### ● 進入抑制対策



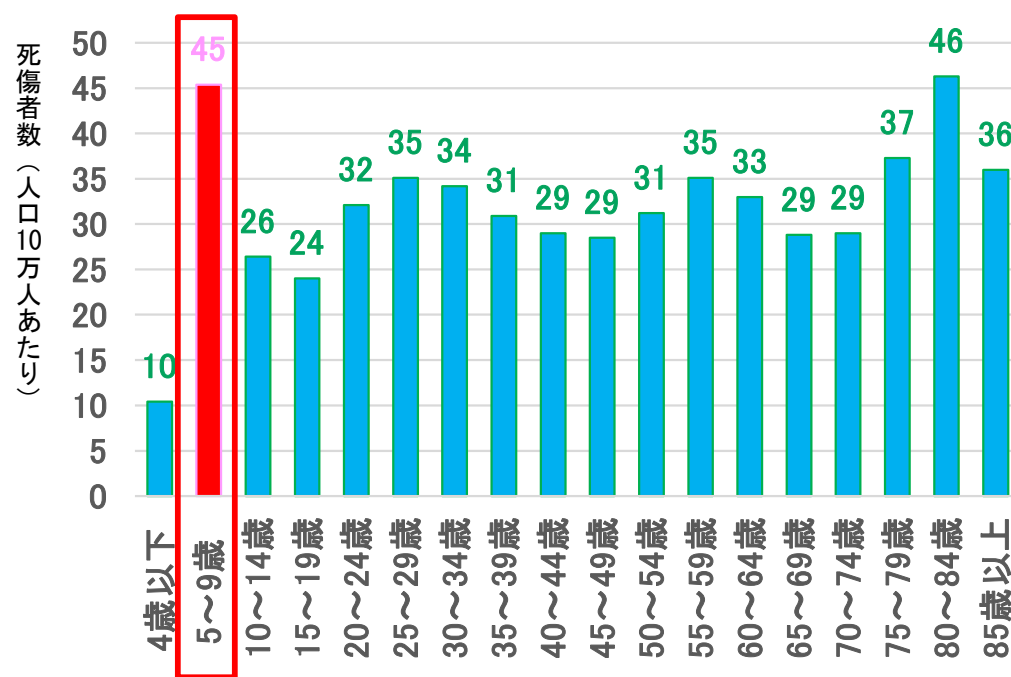
#### ● 速度抑制対策



# 小中高生の交通事故への対応

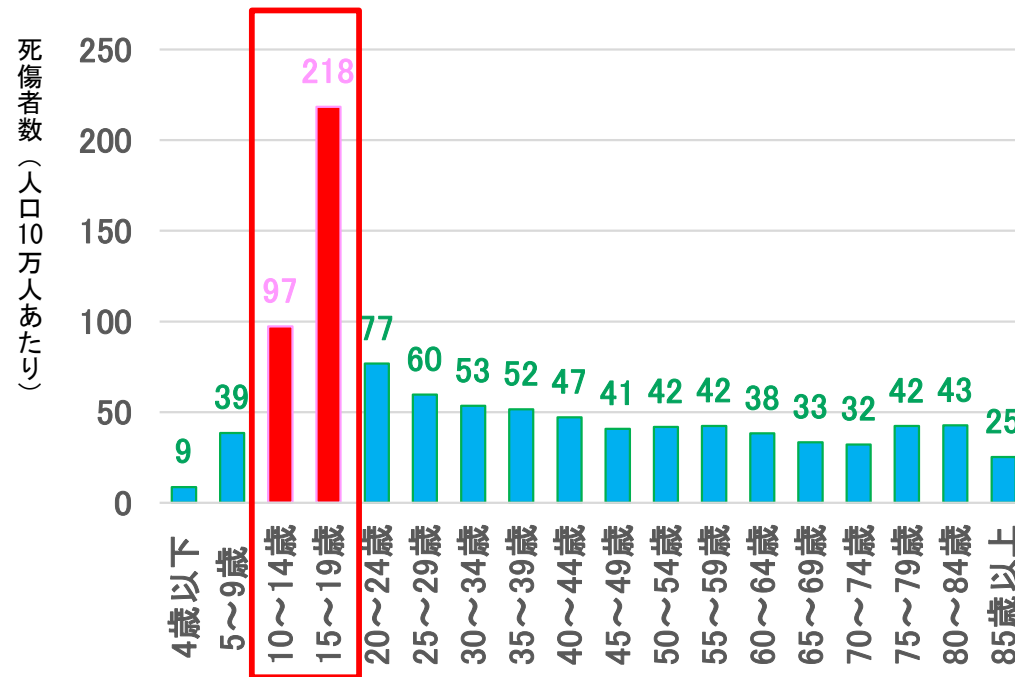
○小学生の通学路対策を重点的に実施してきたが、中高生の対策の強化も必要

【年代別 死傷者数(歩行中)】  
(人口10万人あたり／令和6年)



小学生の  
通学路対策を重点的に実施

【年代別 死傷者数(自転車乗車中)】  
(人口10万人あたり／令和6年)

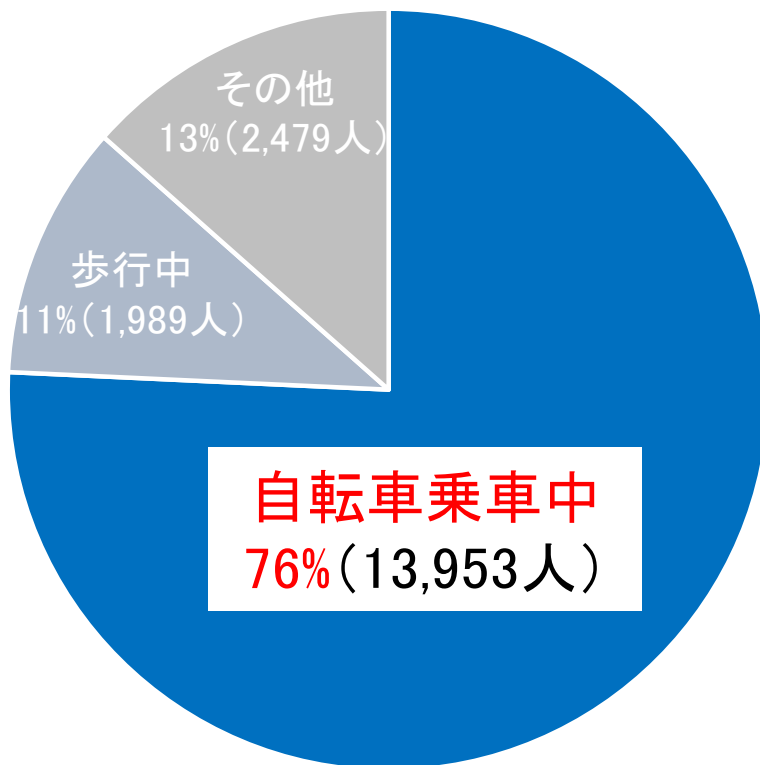


中学生・高校生の  
自転車乗車中の事故が多い

# 中高生を対象とした交通安全対策

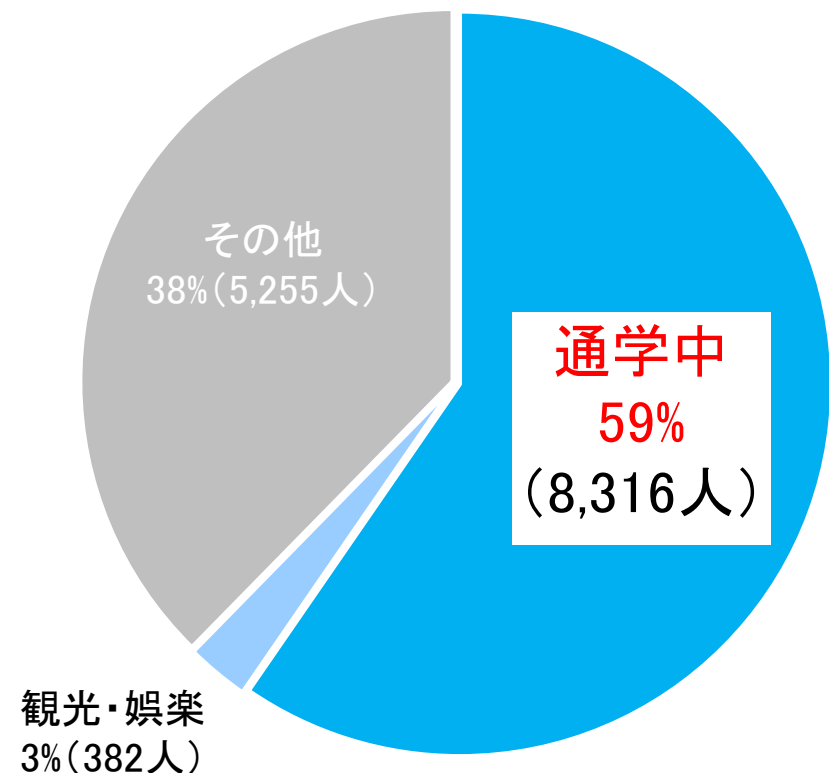
○中学生・高校生は、自転車通学中の交通事故が多いことを踏まえ、学校周辺の面的な対策強化が必要

【中学生・高校生関連の交通事故死傷者数の内訳】  
(令和5年)



(注) 第1当事者あるいは第2当事者の職業が中学生・高校生に該当する事故を対象とし、当事者種別（1当と2当を比較し交通弱者側を優先）より集計した結果

【自転車乗車中の目的別の内訳】  
(令和5年)



(注) 第1当事者あるいは第2当事者の職業が中学生・高校生で、当事者種別が自転車に該当する事故を対象として、通行目的（1当と2当を比較し「通学」や「観光・娯楽」を優先）より集計した結果

## 積雪地域の通学路対策

○積雪地域では、通学路の除雪が追いつかず、歩行空間が確保できない場合もあり、対策の強化が必要



降雪の中で登校する児童(新潟県妙高市)  
(R6.1.16撮影)

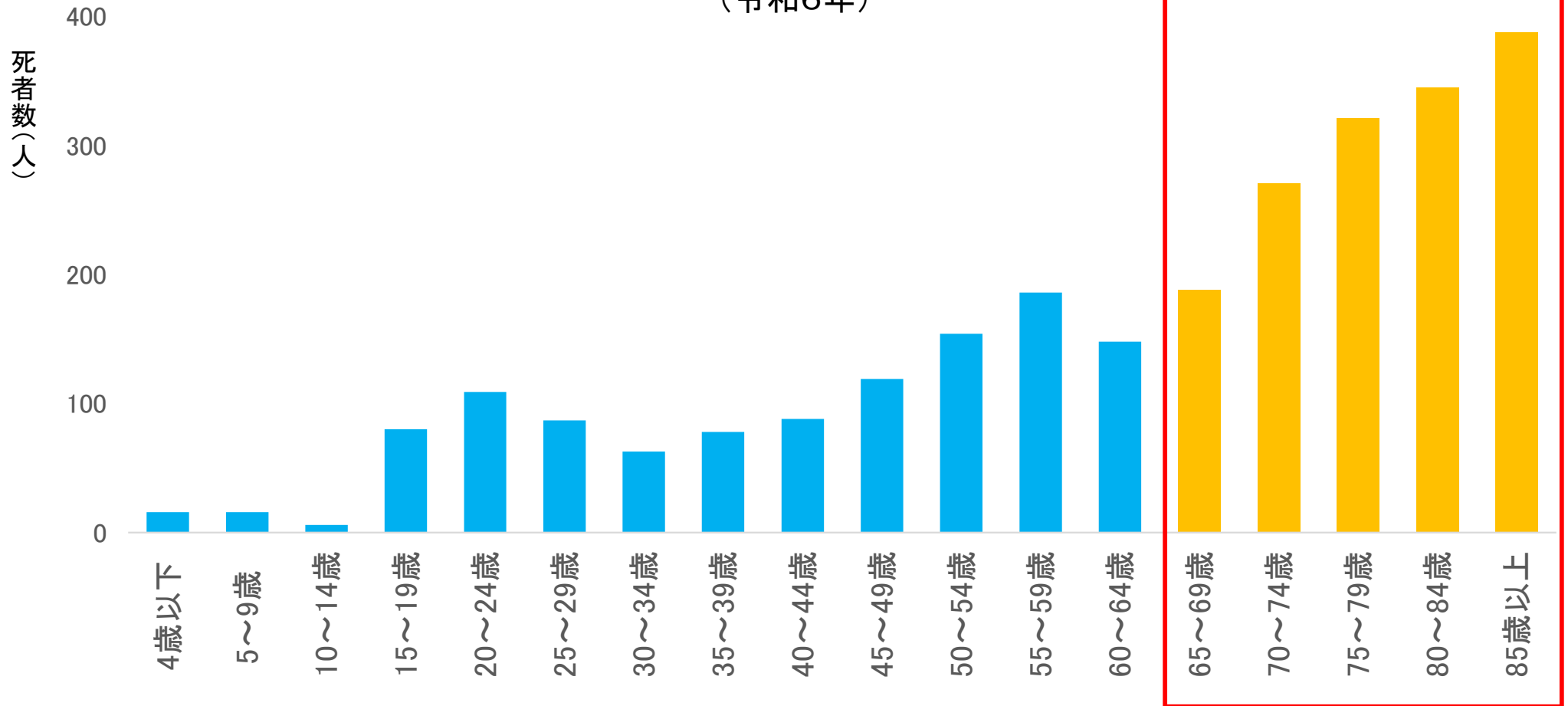


降雪の中で登校する児童(新潟県妙高市)  
(H18.1撮影)

# 高齢者への対応

○高齢者は、交通事故死者数が多いことを踏まえ、対策強化が必要

【年代別 交通事故死者数】  
(令和6年)

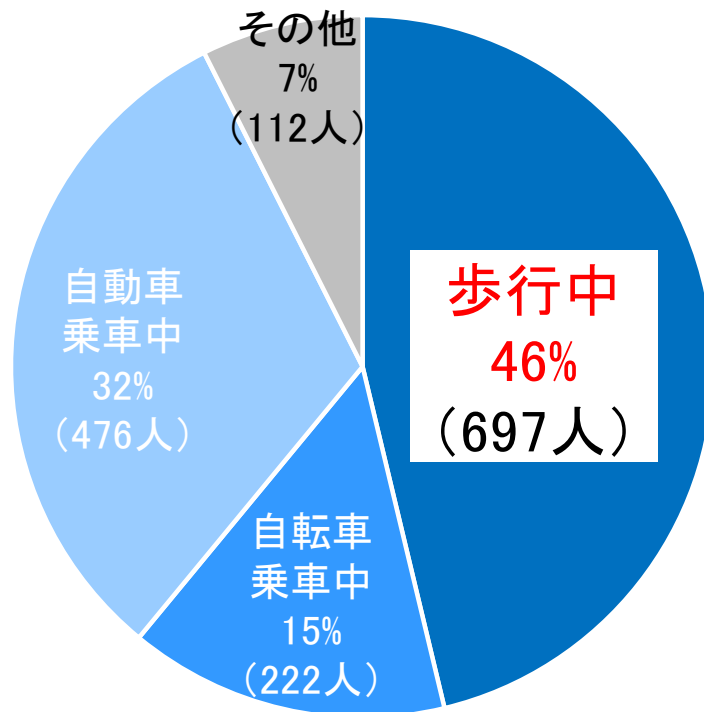


高齢者の死者数が多い

# 高齢者を対象とした交通安全対策

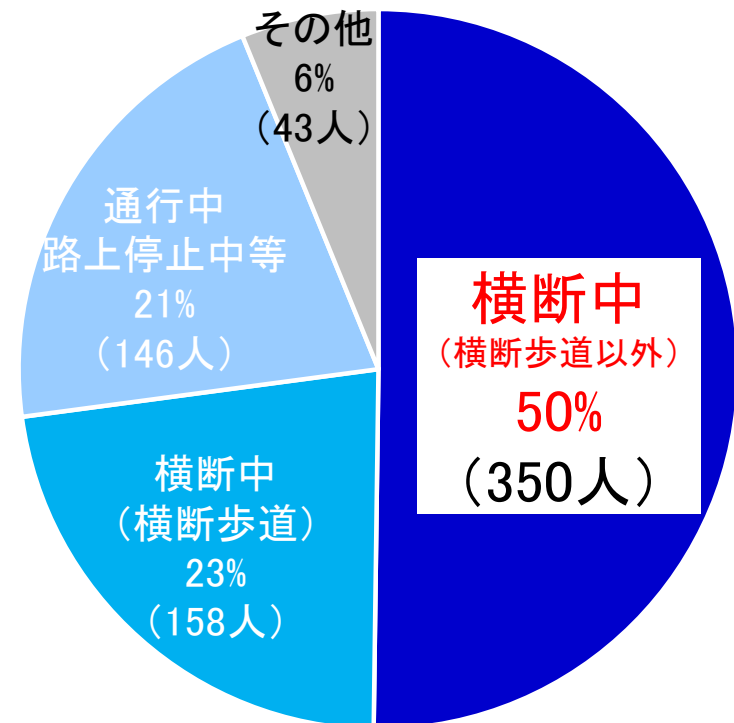
○高齢者は、横断歩道以外での横断中の交通死亡事故が多いことを踏まえた、高齢者の交通安全対策が必要

【 高齢者関連の交通事故死者数の内訳 】  
(令和5年)



(注) 第1当事者あるいは第2当事者の年齢が65歳以上に該当する事故を対象とし、当事者種別(1当と2当を比較し交通弱者側を優先)より集計した結果

【 歩行中の事故類型別死者数の内訳 】  
(令和5年)



(注) 第1当事者あるいは第2当事者の年齢が65歳以上で、当事者種別が歩行者に該当する事故を対象とし、事故類型により集計した結果

出典) イタルダ交通事故・道路統合DB(一般道路版)より集計

# 参考資料

## 【参考①】ゾーン30プラス内の施設状況

○ゾーン30プラスでは、小学校、中学校・高校、高齢者施設などを含むエリアで、交通安全対策を実施

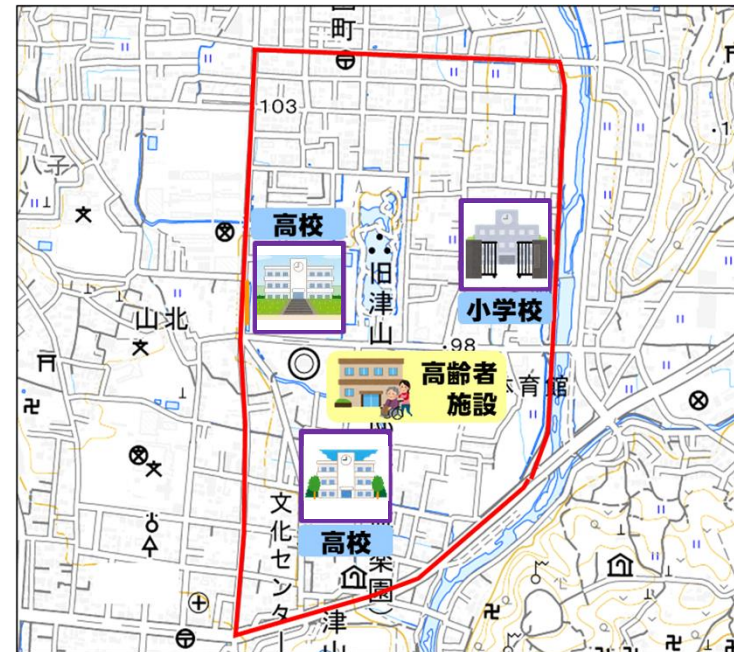
### ■ゾーン30プラス内にある施設

| 施設の種類 | 地区数 |
|-------|-----|
| 小学校   | 151 |
| 中学校   | 35  |
| 高校    | 26  |
| 高齢者施設 | 39  |

※1 全体263地区を分類（令和6年度末の全地区）

※2 ゾーン内に同種類の施設が複数存在する場合がある

＜エリア内に学校や高齢者施設がある事例＞



### 主な対策内容

#### 【道路管理者】

- ・スムーズ横断歩道、歩道拡幅、防護柵、カラー舗装 等

#### 【警察】

- ・最高速度30km/h区域規制、交通指導取締り

## 【参考②】モデル地域内の施設状況

○モデル地域では、小学校、中学校・高校、高齢者施設などを含むエリアで、データ分析や新技術の活用により、交通安全対策を実施

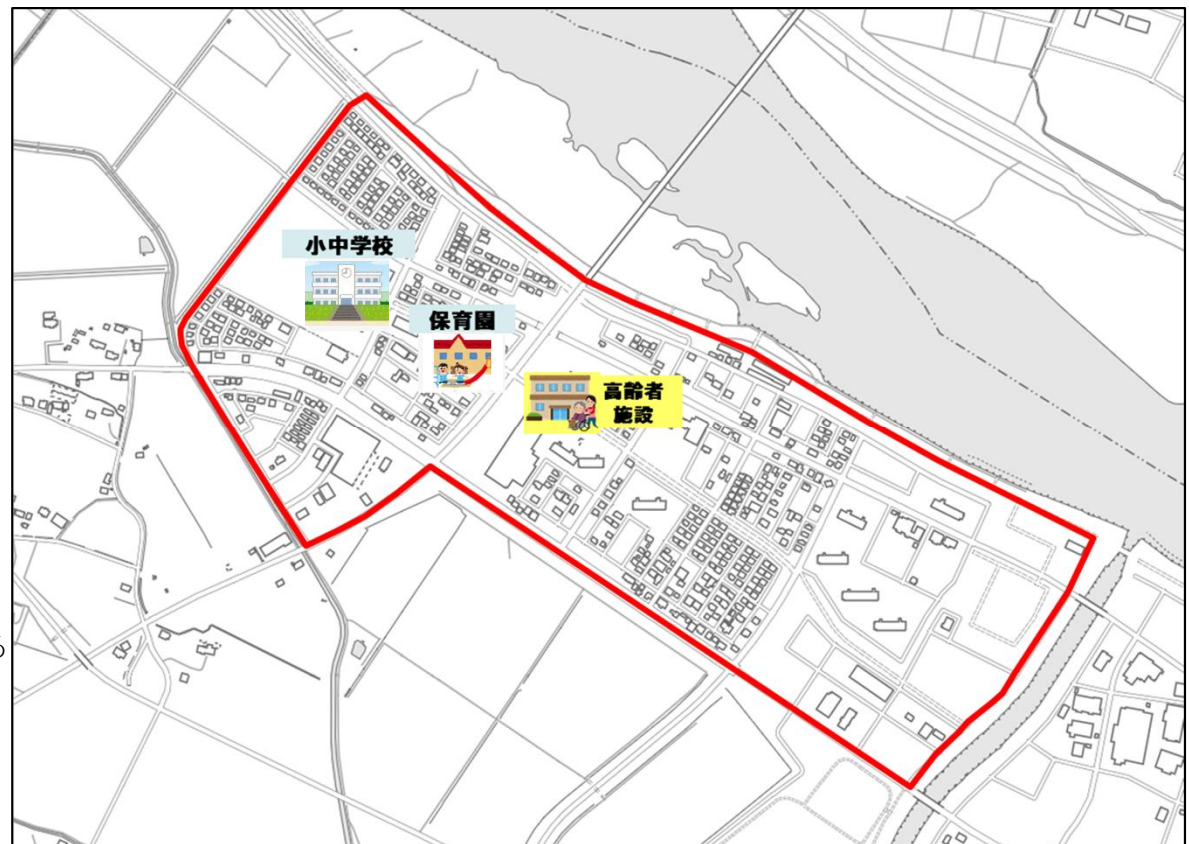
### ■モデル地域内にある施設

| 施設の種類 | 地域数 |
|-------|-----|
| 小学校   | 41  |
| 中学校   | 7   |
| 高校    | 4   |
| 高齢者施設 | 12  |

※1 全体65地域を分類

※2 ゾーン内に同種類の施設が複数存在する場合がある

### ＜エリア内に学校や高齢者施設がある事例＞



## 【参考③】自転車事故削減に向けた官民連携の取組(群馬県)

- 群馬県と一般財団法人トヨタ・モビリティ基金は、自転車による交通事故の削減を目的として、官民による協定を締結(R7.5)し、「啓発施策」と「データを活用した分析・検討」を連携・推進

### <連携方針>

- 当事者の“高校生の自転車ユーザー”と、事故の相手側となる“クルマのドライバー”へ同時にアプローチ
- 令和9年度末までに、群馬県の高校生の自転車事故を令和5年度比で半減を目指す

### <施策と連携のイメージ>



### <協定の連携項目>

1. 自転車交通事故削減に向けた啓発施策に関すること

- ✓『弱虫ペダル』とのコラボレーションによる自転車利用ルールの啓発ガイドブックを群馬県内全ての高校に配布(第1弾として実施済)



2. データを活用した対策検討・効果検証に関すること

出典: 群馬県ホームページ

(<https://www.pref.gunma.jp/page/704296.html>)

## 【参考④】二段階横断施設、センサー付きスポットライト

- 二段階横断施設は、高齢者をはじめとする横断歩行者の安全・安心の確保のため、車道中央部に横断歩行者が待機、退避できる交通島を設置し、2回に分けて歩行者を横断させる施設
- センサー付きスポットライトは、薄暮から夜間にかけて低下する歩行者の視認性向上を図るため、歩行者を感知して点灯する照明

### ■直轄における二段階横断施設の整備事例



国道10号(宮崎県児湯郡川南町)

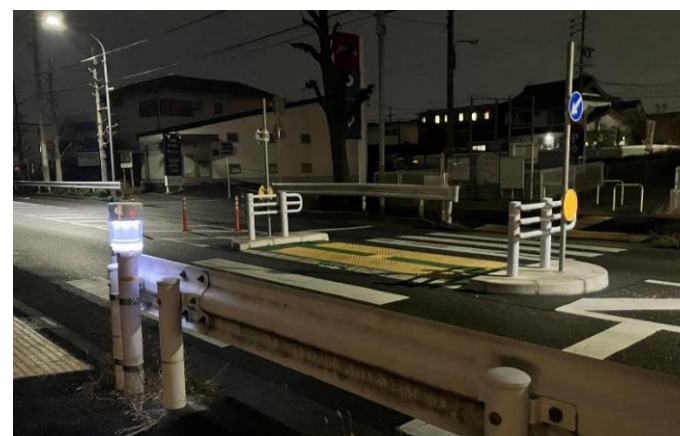
### ■センサー付きスポットライトの設置事例



名古屋市道(名古屋市名東区)



国道19号(愛知県名古屋市中区)



名古屋市道(名古屋市名東区)